



# 学校保健統計調査

総合教育政策局参事官（調査企画担当）付

基幹・一般の別：基幹統計

点検・評価時期：令和8年3月～6月  
(令和7年度調査分)

# 学校保健統計調査の概要①

## 調査の目的

学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

## 調査範囲 及び 報告者数

- ・幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び幼保連携型認定こども園のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校に在籍する満5歳から17歳までの幼児・児童・生徒等（抽出調査）
- ・抽出率：  
発育状態 約5%（約650,000人）  
健康状態 約25%（約3,190,000人）  
（調査実施校 7,755校）

## 調査期日 ・期間

- ・毎年4月1日から6月30日

## 調査系統 調査方法

- ・調査系統：文部科学省－都道府県－報告者
- ・調査方法：郵送又はオンライン（政府統計共同利用システム）

## 報告期間

- ・周期：1年

## 調査票及び調査事項

- ・学校保健安全法により各学校で4月から6月に実施される健康診断の結果に基づき、以下を調査。

①発育状態調査票  
身長、体重

②健康状態調査票  
栄養状態、脊柱の疾病・異常の有無、胸郭の疾病・異常の有無、四肢の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患の有無、皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果

## 学校保健統計調査の概要②

### 集計事項

#### (全国表)

- 年齢別 都市階級別 設置者別 身長・体重の平均値及び標準偏差
- 身長・体重の年齢別分布
- 年齢別 都市階級別 設置者別 疾病・異常被患率等

#### (都道府県表)

- 都道府県別 身長・体重の平均値及び標準偏差
- 都道府県別 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率
- 都道府県別 年齢別 疾病・異常被患率等（各年齢ごと）
- 相談員・スクールカウンセラーの配置状況

#### (年次統計)

- 年齢別 平均身長・体重・座高・肥満傾向児の出現率・痩身傾向児の出現率の推移
- 学校種別 疾病・異常被患率等の推移

#### (e-Stat のみで公表)

- 身長と体重の相関表及び身長別体重の平均値
- 都道府県別 年齢別 疾病・異常被患率等（各都道府県ごと）

### 結果公表

- ・ 調査翌年 2 月頃にe-Statにて公表

### 使用する統計基準

- ・ 使用しない

### 保存期間

- ・ 記入済み調査票：1 年間保存
- ・ 調査票の内容を記録した電磁的記録：永年

### 計画との整合性

不整合の部分は特に無し

# 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点①

## 調査計画の見直し・改善

### 【課題】

- 昭和49年度以降、調査対象に特別支援学校が含まれていない。このため、調査対象に特別支援学校を含めることについて、現場の負担も考慮しつつ、調査の実施方法、集計方法、推計方法等について検討する必要がある。

### 【対応】

実施方法等について、有識者や学校関係者等に意見聴取しつつ検討したうえで、調査計画の変更申請を行う予定である。主な検討事項は以下のとおり。

- 集計方法（全国値にまとめるか）
- 集計方法を踏まえた抽出方法・推計方法
- 調査結果の経年比較性の検証
- 健康診断で検査が困難な項目や検査方法が異なる項目の取扱い
- 現場の負担や実施可能性

## 業務マニュアル等の整備・充実・改善

### 【課題】

- 昨年度の大学進学率の修正事案の再発防止策として、統計担当部署と統計活用部署との情報・意見交換を行い、利用側のニーズや問題意識を適切に把握・反映することとしている。

### 【対応】

- 統計活用部署との情報・意見交換については、実査側として利用側のニーズや問題意識を適切に把握・反映に努めるとともに、利用側も統計作成プロセスの理解が深まる内容とし、これについても業務マニュアルに盛り込む。

## 目安としている指標の設定状況

### 【指標区分】

- 回収率・回答率

### 【目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等】

- 目標精度を5%未満に保つように調査設計回収率は100%を目標とする

### 【目安としている指標の設定時期】

- 平成19年

## 目安としている指標の具体的推移

### 【回収率】

令和7年度調査：100% ← 令和6年度調査：100% ← 令和5年度調査：100%